

平成29年度 分科会施策の管理シート

分科会名	いきいき世代づくり分科会	会長	金光 俊尚
------	--------------	----	-------

重点項目	地域・職域で取り組むこころの健康づくり	数値目標	【達成時期】 平成36年度 【目標値】 自殺死亡率(対人口10万人) 16. 1	分科会事務局	健康医療課
------	---------------------	------	---	--------	-------

期 初(前年度末まで)	【施策名・概要】		期中(~9月)		期末(~2月)…進捗・評価は見込可		次年度へ	
	【実行する内容】 いつ、何を、どのように 等	選定した理由 どのような必要性に基くのか 等	目指す成果 施策を実行した結果、どういった成果が現れる (水準、状態等を数値で)、その検証方法 等	分科会事務局	分科会の意見	分科会事務局		分科会の評価
				施策の進捗捗状況	見直し、課題、助言等の内容	実績及び成果に係る自己評価 評価		達成度・成果について 評価
1	こころの健康づくりの推進 ○事業場におけるメンタルヘルス・ケアの推進 事業場に向き、健康教育を実施 管理監督者研修会の継続実施(8月、9月) ○メンタルヘルスサポーター養成研修会の継続実施 市民対象に2か所で実施	働き盛りの男性の自殺死亡者が多い。 若年層の死因の1位は自殺であり、原因を見ると健康問題、勤務問題が多い。 働き盛り世代への自殺対策が必要である。	○事業場におけるメンタルヘルス・ケアの周知啓発 15か所以上 ○管理監督者研修会の継続実施 参加者70名以上 ○メンタルサポーター養成研修会 修了者数70人	○事業場での教育:2か所で実施 今後2回開催予定 ○管理監督者研修会 第1回8月4日講師の都合により12月4日に延期 第2回9月4日:参加者数:48人 ○メンタルサポーター養成研修会 7月10日 修了者:28人 7月31日 修了者:25人 ○こころの健康標語こころの相談の電話番号を入れたカードを作成し小学校4~6年 中学校1~3年全員に自殺予防週間に配布する。 ○9月15日に自殺予防キャンペーン実施予定	○メンタルサポーターについて、カウンセラーが少ないという現状がある。研修を積み重ねることが重要である。	○事業場での教育 ・目標15箇所以上→実施4か所 ○管理監督者研修会の実施 目標70人×2回=140人→実施96人 ・第1回 9/4 参加者48人 ・第2回 12/4日 参加者48人 ○メンタルサポーター養成研修会 目標修了者数 70人→実施53人 ・7/10(府中会場) 修了者:28人 ・7/31(上下会場) 修了者:25人	○事業場におけるメンタルヘルスケアの周知啓発について、事業場の職員の時間を確保してもらうことは難しいと思う。仕事の合間に出席できる人だけでも参加してもらい、社内で共有してもらうなどの工夫を。	【進捗管理】要 【課題】事業所への周知不足
2								
3								
4								
5								

(注意事項)

- 重点項目ごとに、必ず管理シート1枚以内にまとめること(進捗管理する施策の選択等)。施策の選択の際は、重点項目の目標達成にどの程度貢献するのかも考慮すること。
- 目指す成果の項目には、量的把握が可能なものは全て計量化・数値化することとし、不可能なものについても、望ましい状態や 結果、目標が達成された場合の状態等を具体的に明示すること。
- 達成度・成果の評価においては、施策の実行に当たってのプロセスも考慮し、総合的な視点から判断を行なうこと。評価の基準については、別紙の「施策の実績・盛夏に係る評価の基準」を参考にすること。
- 各施策の詳細(具体的な取組等)について、別に資料を添付しても良いこと。

特記事項

●目標設定の際に根拠(月に何人達成するなど)をはっきりさせて、実行目標が立てやすいように改善を。